

第20回 放射化学討論会

プログラム

() 内講演時間には討論時間5分を含む。

第1日 10月4日(月) 午前の子部

A 会場		B 会場			
[存在状態]	座長	[宇宙・地球]	座長		
1 A 1 (20)	放射線誘発同位体交換反応(1) Tl(I)-Tl(III)硫酸溶液系 (静岡大理) 〇長谷川 園彦・河村公隆	9:30	1 B 1 (20)	火山噴出物中に見られる ¹³⁷ Cs (東大理) 〇佐藤 純・斎藤信房・(東大震 研) 佐藤和郎	9:30
1 A 2 (20)	放射性アンチモンの溶存状態とその 反応(その4) 低塩酸濃度における挙動 とその放射能濃度の影響 (静岡大理) 神原富尚・長谷川 園彦・吉岡 浩江・〇田部 健	玉 井 忠 治	1 B 2 (20)	深海底土中の ²⁶ Al (仏Gif, 微弱放射能センター) J-L Reyss・ 横山祐之・(東大核研) 〇田中重男	中 原 弘 道
1 A 3 (20)	逆抽出法によるポロニウムの溶存状態 に関する研究 (静岡大理) 〇波多江 一郎・坂田昌弘・永田 諭一郎・菅沼英夫	10:50	1 B 3 (20)	隕石鉱物中のウランの鉱物内分布測定 (日本原子力産業) 〇山崎健治・(金沢大理) 横山士郎・高島拓也・坂本 浩	10:50
1 A 4 (20)	クロマトグラフによる溶存ポロニウムの イオン種の分離に関する基礎的検討(II) (静岡大理) 〇菅沼英夫・伊藤 明・波多江 一郎	10:55	1 B 4 (20)	隕石中のクロム同位体比の測定 (東大理) 〇柴田 誠一・加計俊夫・高島 良正・(東大物性研) 源生礼亮・本田 雅健	10:55
—— (休 5 分) ——			—— (休 5 分) ——		
1 A 5 (20)	放射性鉱物から溶出する U, Th, Ra 同 位体とその放射非平衡 (東大理) 〇小橋茂哉・佐藤 純・斎藤 信房	大 森	1 B 5 (20)	ニオブの長半減期核種について (東大物性研) 〇牧野友子・堀江 絹子・ 本田 雅健	田 中 重 男
1 A 6 (20)	(中止)	巍	1 B 6 (20)	陽子照射した隕石中の Ne 同位体比測 定 (東大物性研) 〇源生礼亮・(東大宇宙線 研) 柳田昭平・(阪大理) 高岡宣雄	12:15
1 A 7 (20)	短寿命核分裂生成物の化学種に關す る研究 IV β 壊変との比較 (大工) 〇竹内 弘明・木曾義之・(東大 原子炉) 松下録治・高田実弥・玉井忠治	11:55	1 B 7 (20)	低温におけるトラックの生成 (東大物性研) 〇永井尚生・吉田邦夫・ 本田 雅健	
			1 B 8 (20)	核反応によって生じた安定同位体の質 量分析 —— Al(p,x)Mg 等 (東大物性研) 〇仁藤 修・本田 雅健	

昼

食

A 会場		B 会場	
[存在状態(続)]		[RI製造]	
1 A 8 (20)	²²⁷ Acおよびその娘核種のHDEHP溶液抽出法を用いた単離精製法 (東北大金研)鈴木進・三頭聡明・岡山元	13:10	井上泰
1 A 9 (20)	アメリカシウム(7) 酸性溶液におけるAm(V)およびAm(VI)の安定性 (東北大金研)の原光雄・鈴木進	13:10	今西信嗣
1 A 10 (20)	アメリカシウム(8) 炭酸カルシウムおよび水酸化ランタンによるアメリカシウムの共沈挙動 (東北大金研)鈴木進・原光雄・菊地秀夫	13:10	今西信嗣
1 A 11 (20)	照射 ²⁴¹ AmからのCmの分離 (東北大金研)鈴木進・川筋伊佐務・O深沢哲生	14:30	14:30
——(休5分)——		——(休5分)——	
1 A 12 (20)	シリカゲルおよび硫酸バリウムをもちいるトレーサー量のネプツウムの原子価状態の検定 (東北大工)井上泰・O杉山修	14:35	田中吉左右
1 A 13 (20)	酸性および中性水溶液中のトレーサー量のネプツウムの原子価状態 (東北大工)O井上泰・杉山修	14:35	坂本浩
1 A 14 (20)	Perturbed Angular Correlationによる化学状態の研究(II) 溶液中における ¹⁵² Eu, ¹⁵⁴ Euと添加化学種との関連 (東北大理)O葉有財・O金谷裕・O東海・塩川孝信	15:35	15:35
——(休5分)——		——(休5分)——	
[トリチウム]		[核化学]	
1 A 15 (20)	中性子照射した酸化リチウム中に生成したトリチウムの化学的挙動 (原研)工藤博司・O田中吉左右・天野悠	15:40	森川尚威
1 A 16 (20)	中性子照射した酸化リチウムからのHTOの遊離に關する動力学 (原研・東北大)工藤博司・小林進・O田中吉左右・伊沢郎蔵・天野悠・塩川孝信	15:40	15:55
1 A 17 (20)	UO ₂ マトリックスからのトリチウムの放出とその化学形 (原研)荒殿保幸・O立川園造	16:40	16:00
——(休5分)——		——(休5分)——	
1 A 18 (20)	芳香族カルボン酸リチウムの中性子照射 —水・重水の影響について— (東北RIセンター)O大橋園雄・森川尚威	16:45	立川園造
1 A 19 (20)	核酸構成成分の反跳トリチウム化の研究 (静岡大理)O原田慶一・藤沢弘介・市原慶和	17:25	17:20
		1 B 9 (20)	癌・骨親和性研究のための無担体 ¹⁶⁷ Tmの製造(II) Yb ₂ O ₃ ターゲットからの ¹⁶⁷ Tmの無担体分離 (金沢大理)戸田紀和・代田悦章・妻谷久美子・O坂本浩・阪上正信
		1 B 10 (20)	癌・骨親和性研究のための無担体 ¹⁶⁷ Tmの製造(III) (Ho+α)および(Er+p)反応の励起関数測定 (金沢大理・東北RI研)坂本浩・中園薫・O小村和久
		1 B 11 (20)	光核反応による無担体 ⁴⁷ Scおよび ⁶⁷ Znの調製 (東北核理研)O八木益男・近藤健次郎
		1 B 12 (20)	高比放射能 ⁵¹ Crの製造—照射条件の改良— (原研)山林尚道・O黒沢清行・反田孝美
		1 B 13 (20)	鉄のα粒子照射による ⁵⁹ Ni生成断面積の測定 (東大宇宙線研)O柳田昭平・山越知雄・(東大物性研)渡生礼亮
		1 B 14 (20)	Niターゲットにおける ²¹⁰ Pb, α照射による多粒子放出反応の考察 (都立大理)O村松久和・中原弘道・村上悠紀雄
		1 B 15 (20)	¹¹⁷ In, ¹²¹ Inなどの環変特性の尙懸点 (阪大医技研大)O森川薫・(阪大理)福島昭三・三藤安佐枝・(京大原子炉)岩田志郎・甚島知久
		1 B 16 (20)	UO ₂ ペレットの共鳴中性子自己遮蔽効果と実効共鳴積分 (京大原研)西朋太・藤原一郎・今西信嗣・森山裕太・O鹿田真一郎
		——(休5分)——	
		1 B 17 (20)	Pb附近原子核での光核分裂反応のしきい値 (京大原研)西朋太・O藤原一郎・今西信嗣
		1 B 18 (20)	熱中性子核分裂におけるI核異性体生成断面積 (京大原研)O西朋太・藤原一郎・今西信嗣・森山裕太
		1 B 19 (20)	ヘリウム・ジェット型反跳核輸送装置 (京大原研)西朋太・藤原一郎・O今西信嗣
		1 B 20 (20)	¹⁹² Ptの重陽子反応の励起関数 (京大原研)西朋太・藤原一郎・今西信嗣・O藤波直人

核化学グループ分科会 (理学部大会議室)

A 会場		B 会場			
[気相ホットアトム]		[放射能利用分析]			
2 A 1 (20)	AB-INITIO法によるβ ⁻ 壊変の理論的研究(I) HT, CH ₃ T, C ₂ H ₅ T (理研)○生田 茂・今村 昌・(東北大理)吉原賢二・塩川孝信	座長 9:30	2 B 1 (25)	酸化還元不足当量を用いる同位体希釈分析(オ7報) K ₂ C ₂ O ₇ 不足当量酸化による金属亜鉛中のアンチモンの定量 (静岡大理教)神原富尚・鈴木諱亮・吉岡潤江・浅井重弘	座長 9:30
2 A 2 (20)	AB-INITIO法によるβ ⁻ 壊変の理論的研究(II) NH ₃ T, OHT (理研)○生田 茂・岩田末宏・今村 昌	八木	2 B 2	酸化還元不足当量を用いる同位体希釈分析(オ4報) ¹²⁴ Sb中のアンチモンの定量(放射測定との比較) (静岡大理教)神原富尚・鈴木諱亮・吉岡潤江・○石添信	河村
2 A 3 (20)	四重極 mass filterによる charge spectrometryのこころみ (東北大理)○奥野健二・平賀正之・吉原賢二・塩川孝信・(理研)生田 茂・今村昌	益男	2 B 3 (35)	高純度材料中の超微量成分の放射化分析(オ7報) 不足当量法によるスズ中のインジウム定量 (電電公社茨城研)○小林健二・工藤 洸・重松俊男	正一
2 A 4 (20)	(中止) ——(休5分)——	10:30	2 B 4	高純度材料中の超微量成分の放射化分析(オ8報) 不足当量法によるセレン化亜鉛中の不純物の定量 (電電公社茨城研)○重松俊男・工藤 洸・小林健二 ——(休5分)——	10:30
2 A 5 (20)	照射八酸化三ウランからの放出ヨウ素の反応性 ——プロパンとの反応 (原研東海)立川 圓造・○中島幹雄	10:55	2 B 5 (20)	ポリエチレングリコール及びその誘導体によるU, Np及び2,3のF.Pの溶媒抽出 (新潟大理)○工藤久B・橋本哲夫・外林 武	10:35
2 A 6 (20)	気相 H ^{80m} Br-CH ₄ 系における核異性体転移にも与える化学的効果 ----- CH ₂ =CH ₂ 添加効果 (東北大理理研)八木益男・○近藤健次郎	富永	2 B 6 (20)	マイクロ高速陽イオン交換クロマトグラフによる放射性核種の迅速分離 (名大工)石井大道・広瀬昭夫・○若山崎之雄	工藤
2 A 7 (20)	反跳イオン原子とエタンとの反応(2) (比里大征生)○新澤和裕・滝 幸	11:55	2 B 7 (20)	EDTA錯体の生成を利用したカラム法による Sr の分離 (日本分析センター)○木村敏正・佐藤兼章・植口英雄・浜口 博	洸
			2 B 8 (20)	原乳中の ¹³¹ Iの簡易分析法 (日本分析センター)○桐田博史・本多哲太郎・木村敏正	11:55

(昼 食) 放射化学研究連絡委員会

特別講演 (C会場, 教養部B棟)		13:10
1. 放射化学におけるラジカル性中間体の役割 (東大教養) 松浦二郎	(座長 山寺秀雄)	
2. 日本の放射化学—回顧と展望— (東大理) 齋藤信房	(座長 阪上正信)	15:10

移動休憩

研究発表・討論

A 会場		B 会場			
[ホットアトムその他]		[放射能利用分析(続)]			
2 A 8 (20)	¹⁴⁴ Ce DTPA化合物のβ壊変にともなう化学的効果 (阪府放中研) 朝野武美・谷口節男	座長 15:20	2 B 9 (20)	巨大網状構造合成吸着樹脂の放射化学への利用(4) ルテニウムの吸着(その1) (放医研) 今井靖子・渡利一夫・伊沢正実	座長 15:20
2 A 9 (20)	光照射したアセチルアセトナト錯体の有機溶媒中における反応(第2報) トリスアセチルアセトナトコバルト(III)のベンゼン中における光化学反応および反応化学反応との比較 (東大理) 西保夫・富永健	吉原賢二	2 B 10 (20)	イオン交換樹脂粒を用いた点状ガンマ線源の作成とその放射化学分析などへの応用 (金沢大理) 中西孝・(東歯大進) 小林暉子・(西独ユニッヒ核研) B. Sansoni	池田長生
2 A 10 (20)	Hofmann型包接化合物系における反跳 ⁸² Br原子の化学的挙動——希釈系 (熊大工) 岸川俊明・遠山晋一・小川頼之・占部則明・(九州東海大) 田宮知郎	16:40	2 B 11 (20)	トルエン抽出した ²²² Rnおよび ²²⁰ Rnの液体シンチレーションカウンターおよびGe(Li)検出器による測定法の相互比較について (都立大理) 矢野倉 実・村松又和・中原弘道・村上悠紀彦	16:40
2 A 11 (20)	Te核分裂生成物の化学形態 (東大原研) 西 朋太・藤原一郎・今西信嗣 ○森山裕文 ——(休5分)——	16:45	2 B 12 (20)	粒子トラック法によるホウ素の定量への ²⁴¹ Am-Be中性子線源の利用 (神奈川県工試) 牧 康行・分銅良道・高橋 薫・野尻利明 ——(休5分)——	16:45
2 A 12 (20)	エネルギー1~1.5 Mevのα線小線源の試作 (原研) 加藤孝生・工藤博司・田中吉右・天野 忠	藤原一郎	2 B 13 (20)	荷電粒子励起X線測定による微量元素分析(7) 環境試料の分析 (東北大理) O.V.R. Navarrete・伊澤 郡蔵・塩川孝信・石井慶造・森田 右	外林武
2 A 13 (20)	簡易α,β鉛セル (原研東海) 上野 馨・佐川 千明・星 三千男・斎藤 昭・大内 金二・(東京学芸大) 渡辺 賢寿	17:25	2 B 14 (20)	フェロシアン化金属塩沈殿生成によるRIの捕集 (放医研) 河村正一・黒滝克己・柴田 貞夫・山下 洋	17:25

ホットアトムグループ分科会 (理学部大会議室)	放射化分析グループ分科会 (理学部 B204号室)
----------------------------	------------------------------

A 会場		B 会場			
[ホットアトム]		[放射化分析・環境放射能]			
3 A 1 (20)	α壊変の際の反跳原子の挙動——捕集板などからのα放射体の溶出について (新潟大理)○橋本哲夫・木戸一男・外林武	座長 9:30	3 B 1 (20)	放射化分析法による温泉中の微量元素の定量 (東大大理)池田長生・○高橋成人・関李紀	座長 9:30
3 A 2 (20)	α線照射と水熱反応を受けた雲母のIMAスペクトル (理研)○荒谷美智・斎藤信房	岸	3 B 2 (20)	天然水中のハフニウムの放射化分析 (青山学院大理工)○木村幹・大石篤・平尾良光・佐羽内真利子	辻
3 A 3 (20)	クロム酸カリウムにおける(α,n)反応に伴う化学的効果 (東大大理)○菊地毅光・大森 毅・塩川孝信	川	3 B 3 (20)	純水中のナトリウム塩素の中性子放射化分析 (日本分析センター)○樋口英雄・野中信博・西村耕一・塚口 博・(立教大原研)戸村健児	治
3 A 4 (20)	アルカリリン酸塩ガラスの ³² Pホットアトム化学 (九大理)○石崎恵治・中村照正・大橋茂・(東大放養)木浦二郎	俊	3 B 4 (20)	Chelating agent loaded-resin による河川水中の親銅元素の捕集と中性子放射化分析 (群馬大工)○赤岩英夫・川本 博・中田典子	雄
——(休5分)——		明	——(休5分)——		10:50
3 A 5 (20)	ネプツニウムのジヒパロイルメタン錯体の昇華性について (金沢大理)徳江基行・中村富郎・○阪上正信	10:50			10:50
3 A 6 (20)	銅、コバルトのテトラフェニルホルフィン錯体における熱アニリング挙動 (東大大理)池田長生・○中島 茂・酒井陽一・荏司 準	10:55	3 B 5 (20)	海藻中の微量元素の放射化分析(1)熱中性子による非破壊多元素分析 (名工試)○河島達郎・甲田善生・(京大)山本俊夫	10:55
3 A 7 (20)	コバルトテトラフェニルホルフィン錯体の反跳化学 (東大大理)池田長生・○酒井陽一・荏司準・中島 茂	橋	3 B 6 (20)	海洋環境試料中のジルコニウムの定量(沖1号) 海産生物中のジルコニウムの定量と生物濃縮 (放医研)○鈴木 次治・石井紀明・小柳卓	戸
		本			村
		哲	3 B 7 (20)	海水中の微量元素の放射化分析——前濃縮法としてのAPDC抽出法 (甲南大理)日下 謙・○辻 治雄・玉利祐三・佐川直史・(大阪府公研)大森 佐子・(神戸市環保研)今井 佐金吾・(兵庫県公害研)尾崎 富生	健
		夫			児
		11:55			11:55

昼 食

特別講演 (C会場, 教養部B棟)		13:10
1.	トリチウム標識化合物のβ壊変による断片化の研究 (東北大理) 塩川 孝信 (座長 村上悠紀雄)	
2.	原子力工学におけるトリチウム・サイクル (阪大工) 品川睦明 (座長 重松恒信)	15:10

移動休憩

研究発表・討論

A 会場		B 会場			
[メスバウアー]		[環境放射能・放射化学分析(続)]			
3 A 8 (20)	鉄(II,III)-リン酸塩ガラスおよび鉄(III)- ホウ酸塩ガラス内の核反応とメスバ ウアースペクトル (九大理)高島良正・○西田哲明	座長 15:20	3 B 8 (20)	光量子放射法による深海底土の 多元素分析 (東北大理)○加藤 豊明・鈴木信男・ (岩手大教養)佐藤允美	座長 15:20
3 A 9 (20)	塩化ナトリウム結晶の欠陥構造とメ スバウアースペクトルの関係 (九大理)高島良正・○甲斐徳久・西田 哲明・村上是郎	馬 淵	3 B 9 (20)	須臾器の放射化学分析(オラ報) 須臾器跡出土須臾器について (奈良大)○三辻利一・平賀幸三・ (京大東大)小山睦夫・武内孝之・中野 幸康・(名大文)横崎 幸一	木 村
3 A 10 (20)	内部転換電子の飛程とメスバウアー 分光法 (都立大理)○遠藤和豊・渋谷守・佐野 博敏	夫	3 B 10 (20)	環境試料中の ⁹⁰ Sr, ¹³⁷ Csの分離 定量 (九大理)高島良正・○百島則幸・藤 崎三郎・北島正明	幹
——(休5分)——		16:20	——(休5分)——		16:20
3 A 11 (20)	メスバウアー分光法による溶液およ び凍結溶液中の反応の研究(オ1報) トリスオキサレート鉄(III)酸カリウムの固相 および溶液での光化学反応 (東大理)○佐藤春雄・富永 健	高 島	3 B 11 (20)	環境試料中の ⁹⁰ Sr, ¹³⁷ Cs, ²³⁹ Puの 系統的分析法 (原研)○荻井 篤・今井利夫・天野 光	加
3 A 12 (20)	メスバウアー分光法の考古学への応用 (オ1報) (東大理)○富永 健・竹田満洲雄・岸 本和枝・(国立文化財研)江本義理・馬 淵久夫	良 正	3 B 12 (20)	環境中に存在する放射性核種の定 量(3) 松葉中の放射性核種 (名大理)古川 路明	藤 豊
		17:05	3 B 13 (20)	都市排水水中のガンマ線放出核種の 測定 (静アソシ-フ総研)○堀口泰裕・山本 竜夫・猪越幸雄・鈴木隆司・岡野安 宏・千坂治雄	明
					17:25

移動

懇親会 (静岡グランドホテル 中島屋)	18:00
	20:00

